

ぎかい TIMES

令和5年12月1日発行 No.71



あさひオータムジャンボリー2023 ～旭市産業まつり～

各産業の担い手と市民が交流する旭市産業まつりが、4年ぶりに開催されました。1万5000人が来場し、大盛況のうちに幕を閉じました。

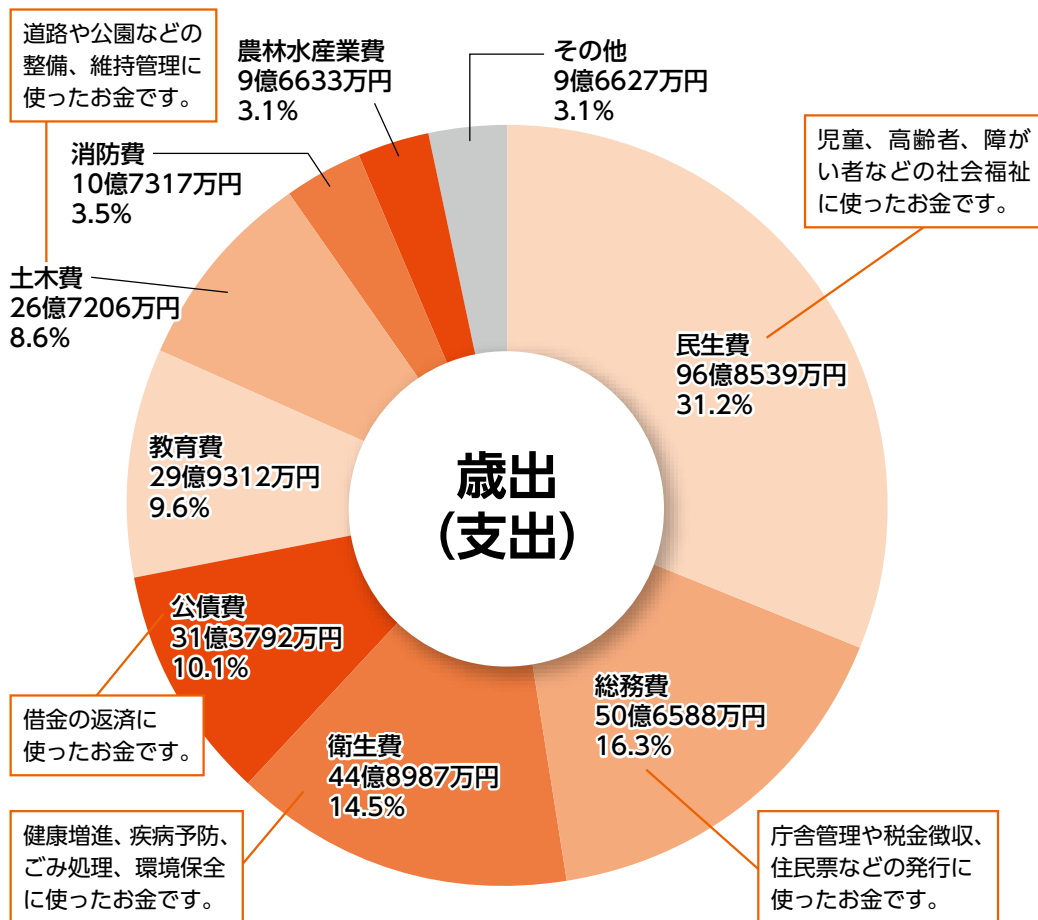
CONTENTS

令和4年度決算…2 決算審査特別委員会…4 9月定例会 議案審議…5 常任委員会Q & A…6 審議結果一覧…7

一般会計歳出

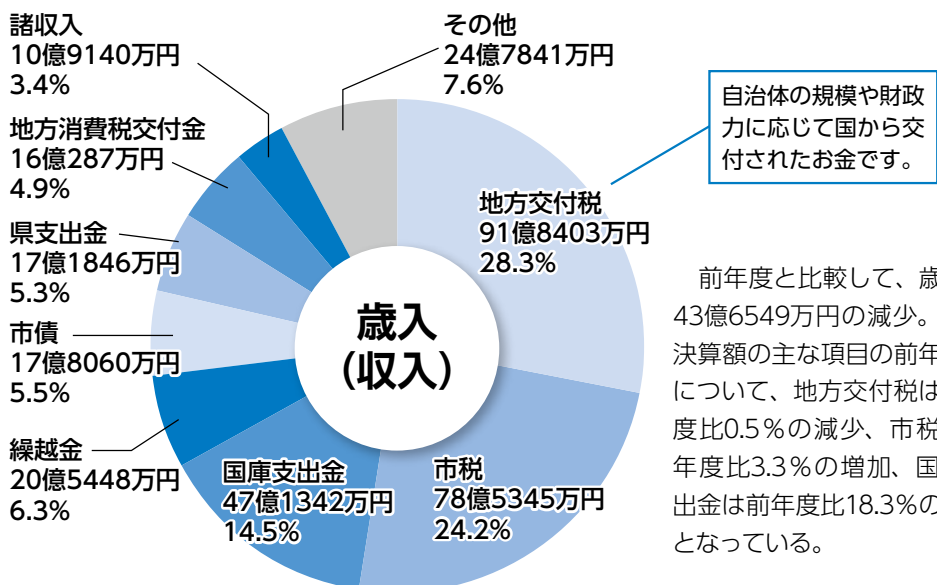
310億5000万円を認定

歳出 310億5000万円



前年度と比較して、歳出は37億3813万円の減少。歳出決算額の主な項目の前年度比について、民生費は前年度比8.0%の減少、総務費は前年度比34.6%の減少、衛生費は前年度比1.9%の増加となっている。

歳入 324億7712万円



前年度と比較して、歳入は43億6549万円の減少。歳入決算額の主な項目の前年度比について、地方交付税は前年度比0.5%の減少、市税は前年度比3.3%の増加、国庫支出金は前年度比18.3%の減少となっている。

令和4年度

主な事業

Pick Up!

令和4年度に実施した事業の一部を紹介します。

出産祝金を支給



決算額 2540万円

1年以上前から旭市内に住んでいる方が、第2子以降を出産した際に出産祝金を支給。
支給実績 182人

シティプロモーション推進



決算額 1560万円

官民一体の組織「あさひロケーションサービス協議会」を設立し、ロケの受け入れ体制を整備した。99件のロケの問い合わせがあり、うち22件の撮影を実施。

乳幼児紙おむつ給付



決算額 2720万円

2歳未満の乳幼児を養育する保護者に対して、紙おむつ購入券(月3000円)を給付。
給付乳幼児数 763人

省エネ設備設置助成



決算額 610万円

住宅用省エネ設備等の導入に対し、設置費用の一部を補助。
太陽光発電設備 44件
定置用リチウムイオン蓄電システム 57件

商業活性化推進



決算額 8285万円

地域商業の活性化のためプレミアム付商品券の発行や商業組織等が実施するイベント等の各種事業に対し、一部を助成。

住宅リフォーム補助



決算額 1862万円

市内施工業者と契約し、自己が居住する住宅のリフォーム工事を行った者に対し補助を実施。
補助実績 119件

社会教育施設再編



決算額 1億7839万円

建築後50年以上が経過した「旧旭市民会館」と「旧旭市青年の家」の解体撤去工事等を実施。

コロナ対策事業

コロナワクチン接種

決算額 5億866万円

市民が早急かつ円滑にコロナワクチンを接種できるよう、集団接種を中心とした接種を実施。

令和4年度接種者 8万5367人

コロナ患者の病床確保支援

決算額 1億円

コロナ感染症患者を受け入れるために空床を確保した医療機関に対して支援金を交付。

令和4年度実績 一般病床 6096床

I C U 救急 739床

決算審査特別委員会

お金の使い方を詳しくチェック



予算の使い方が適正であったか、効果があったかなどをチェックするために「決算審査特別委員会」を設置し、令和4年度各会計決算8議案を2日間にわたり審査しました。

審査の結果、いずれも原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。

令和4年度一般会計決算

総務

問 デマンド交通運行事業について、登録者数と開始当初の令和2年度から令和4年度までの利用者数は。

答 令和4年度末の登録者数は1460人。利用者数は、令和2年度が4091人、令和3年度が5373人、令和4年度が6648人。

問 シティプロモーションの経済効果は。

答 はっきりとした数字は出ていないが、弁当代や宿泊費等で単純に市内で使われた金額としては112万円。

民生

問 緊急通報装置について、何世帯に貸し出しているか。また、費用を無償化する予定はあるか。

答 273世帯に貸し出している。費用は所得税の年額で利用者負担額を決めており、9割以上の世帯が所得税非課税世帯のため、本人負担なしとなっていることから、無償化の予定はない。

問 一時預かり事業の年間利用者数の実績は。

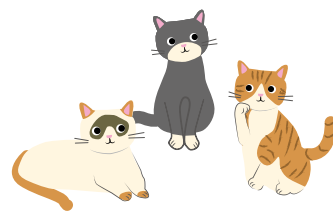
答 5施設で利用実績があり、実利用者数は70名、延べ利用者数は715名。

環境

問 犬猫の不妊・去勢手術普及補助金について地域猫は対象になるのか。

答 補助金交付要綱で本市に住

民登録があり、犬猫の飼い主であることが条件となっていることから、地域猫は対象とならない。



問 ゴミステーション設置補助金の対象は新設だけか。

答 新設、改良、修繕ともに対象となる。そのほかに移動式ゴミステーションの補助もある。

農業

問 鳥獣による農作物の被害額は。

答 令和4年度は58万7000円、令和3年度は72万2000円。ただし、これは市で把握しているものだけなので、これ以外にもあると思われる。

商業

問 ユーチューブインストリーム広告の再生回数は。

答 約15秒のPR動画を昨年の6月から8月の約2か月配信し、最後まで視聴した数で8万1079回。

決算審査特別委員会

委員長	遠藤 保明
副委員長	片桐 文夫
委員	宮澤 芳雄
	島田 恒
	井田 孝
	崎山 華英
	戸村ひとみ
	菅谷 道晴
	常世田正樹

答 市内中学校5校、北総地区の公立及び私立の高校18校に対し申請書等の一式を送付している。大学には特に周知を行っていないが、広報に掲載するほか、毎年2月にホームページやフェイスブックで周知している。

問 育英資金給付事業の周知について、どこまでの高校等へ周知しているのか。また、在学中の大学生等への周知方法は。

教育

答 外壁・屋根が78件、浴槽やトイレ、キッチン等水回りが30件、内装建具が8件、増築が3件。

土木

問 住宅リフォーム補助事業119件の工事内容内訳は。

問 まちかどギャラリー管理委託料の委託先と業務内容は。

答 ロザリオ聖母会へ清掃や鍵、シャッターの開け閉めを委託している。

9月
定例会

議案審議

会期 9月4日～9月27日(24日間)

市長提出議案

- 決算案件……………8件
- 予算案件……………3件
- 条例案件……………3件

この定例会には、令和4年度各会計決算、令和5年度各会計補正予算、条例の一部改正、専決処分の承認など14議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり認定・可決・承認されました。



上：中央第二保育所 下：ゆたか保育所

議案
第9号

令和5年度 旭市一般会計補正予算

中央第二保育所とゆたか保育所を 統合

(仮称)中央第二・ゆたか統合保育所建設基本計画に基づき、令和7年4月1日の開所を目指す。履行期間が令和6年度にまたがることから、債務負担行為を設定。全体事業費は施工監理業務委託が1243万1000円、建設工事が8億4447万1000円で、翌年度以降の債務負担行為を設定する限度額は、施工監理業務委託が1019万3000円、建設工事は6億9246万6000円。

議案
第11号

旭市印鑑条例の一部を 改正する条例の制定

全国で始まるスマホを用いた コンビニ交付に対応するため改正

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、マイナンバーカードの電子証明書の機能がスマホアプリに搭載できるようになった。これに伴い、コンビニ等における印鑑登録証明書の交付申請において、マイナンバーカードを用いた方法のほかにはスマホを用いた方法を加えるため改正を行う。スマホを用いたコンビニ等での証明書の交付が可能となるのは、全国で今年10月以降とされている。また、コンビニ交付では、ほかに住民票の写しや戸籍の証明書等も取得できるが、それらの交付申請については、それぞれの法律で改正済。



議案
第13号

旭市火災予防条例の一部 を改正する条例の制定

蓄電池設備の大容量化に対応する ため改正

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令が改正されたことに伴い、リチウムイオン蓄電池設備等の新たな蓄電池設備や、昨今の蓄電池設備の大容量化等に十分に対応できるように、旭市火災予防条例の一部を改正する。



問 この条例改正による事業者への影響は。

答 事業者への影響については、すでに設置されているものや工事中のものに対しては現行通りとなり、新たに規制対象となるものに対しては、施行日から2年以内は現行通りとなることから、今回の条例改正による事業者への影響はない。

常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。

建設経済常任委員会

旭市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第12号)

Q 現在、把握している特定空家の数は。

A 平成30年に空き家の一斉調査を行っており、市内に特定空家になりえる建物が106件あることを確認している。同様の調査を本年度実施中であり、最新の数値は年度末に把握できる。

Q 空家等管理活用支援法人に管理を委託する場合、具体的な委託内容は。

A 例えば年に2回の草刈りや立木の手入れ、月に1回の窓開け、換気等が含まれると思われる。

Q 市長から勧告を受けた場合、すぐに固定資産税の減額を解除されるのか。

A 指導をして改善されない場合に勧告、勧告で反応がない場合に固定資産税の特例の解除となる。特定空家に指定されて、すぐに固定資産税の特例が解除されるというわけではない。



旭市浄化センターを視察

審査結果

委員会付託の1議案について、全員賛成で原案のとおり可決。

文教福祉常任委員会

令和5年度旭市一般会計補正予算について(議案第9号)

Q 保育所統合整備事業について、統合保育所の設計で事故予防や安全に対し、気を付けるべき点や工夫した点はあるか。

A 平屋造りであり保護者や子どもたちの様子が安全に配慮して見て取れる形となっている。また、事務室と0、1歳児の保育室が接している。2歳児の保育室からは、子ども達が外に出て行かないよう施錠ができる作りと

なっている。園舎の周りをフェンスで囲み、防犯カメラ等も多く設置する予定。

専決処分の承認について(令和5年度旭市一般会計補正予算)(議案第14号)

Q 新型コロナワクチンの秋開始接種の対象者について、1回目の方も対象なのか。また、接種年齢は。

A 1回目の方も対象。接種年齢は生後6か月以上。また、ワクチンについてはX B B.1.5*対応ワクチン。
※X B B.1.5…解説は16ページ



匠瑤市のFLOWER CHILDRENで病児保育を視察

審査結果

委員会付託の3議案について、全員賛成で原案のとおり可決、承認。

総務常任委員会

令和5年度旭市一般会計補正予算について(議案第9号)

Q ちば消防共同指令センターの指令システム機器全体更新負担金について、更新内容と全体事業費は。

A ちば消防共同指令センターは、千葉市消防局内にあり、県北東部、南部の20の消防本部で構成されている。指令システム機器は運用開始から10年が経過しており、機器の更新が必要となる。令和5年度から令和8年

度までの4年間で機器の全体更新を行い、総額は52億3493万3000円。更新により指揮隊にタブレットが配付され、現場の画像が指揮本部や指令センターでも共有できることが大きなメリット。



旭市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について(議案第11号)

Q マイナンバーカードを使用したコンビニでの証明書の交付率は。

A マイナンバーカードでのコンビニ交付は市全体で発行する、住民票や印鑑登録証明書等のうち10%程度。

審査結果

委員会付託の3議案について、全員賛成で原案のとおり可決。請願1件について、賛成多数で採択。

令和5年第3回定例会 審議結果一覧

賛否が分かれた議案と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長

※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			常世田正樹	伊藤 春美	菅谷 道晴	戸村ひとみ	伊場 哲也	崎山 華英	永井 孝佳	井田 孝	島田 恒	片桐 文夫	遠藤 保明	林 晴道	宮内 保	飯嶋 正利	宮澤 芳雄	伊藤 房代	向後 悦世	景山岩三郎	木内 欽市	松本源太郎
市 長 提 出 議 案																						
1	令和4年度旭市一般会計決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×
請 願																						
3	インボイス制度の中止を求める請願	不採択	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	議	○

全員賛成で議決した議案

- 議案2 令和4年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について
- 議案3 令和4年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- 議案4 令和4年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- 議案5 令和4年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 議案6 令和4年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案7 令和4年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案8 令和4年度旭市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

- 議案9 令和5年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案10 令和5年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案11 旭市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案12 旭市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案13 旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案14 専決処分の承認について(令和5年度旭市一般会計補正予算)

討論

討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、議員が賛成か反対かの自己の意見を表明することです。

〈議案第1号〉

反対

松本源太郎議員

1点目、生涯活躍のまち形成事業、イオン旭中央ができてすぐ、サンモールのイオンが撤退しました。40年間あった店がなくなり、これから中心市街地はどうなるのでしょうか。市は全く関心を示しません。

2点目、サッカー場の完成と同時に、12の社会体育施設を指定管理者制度にしました。市が社会体育施設で市民のスポーツの指導をする役割はどこへ行ってしまったのでしょうか。

3点目、第2期旭市子ども・子育て支援事業計画が作成されて4年たちますが、子どもの貧困対策は全く調査もせず、行動計画もありません。

4点目、市立干潟保育所を指定管理期間15年が過ぎたら学校法人に無償で譲渡し、市有地は無償で貸与、こんなことが頻発したら、市立保育所は必要ないということでしょうか。

5点目、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院に、市は1億円を支援しました。どのように使われたか質疑したところ、病院のホームページを見ていただきたいとの回答でした。支援したらその報告をきちんとすべきではないでしょうか。

6点目、防災行政無線の運用については、多くの市民から、「聞こえないと連絡してもなしのつぶてです」などの声を聞きます。これでよいのでしょうか。

7点目、広報の配布の問題です。広報あさひは740万円ほどかけて、60%の家庭にしか届いていません。

以上、7点は一例ですが、このような点をなくし、住民の立場に立った行政を進める必要があり、以上の理由により令和4年度旭市一般会計決算の認定に反対いたします。

市政を問う！

第3回定例会

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



銚子連絡道路整備事業について

問 匝瑳市からの3期区間が令和4年4月に事業化されたが、本市のIC(インターチェンジ)が想定される地域への道路整備計画を伺う。

答 1か所目は、鎌数工業団地の東側を南北に走る谷丁場遊正線の終点部から銚子連絡道路に接続する道路としてICまでの区間を整備する計画。2か所目は、市役所の南側ハ地先、県道旭停車場線と接続する箇所へICを設置する計画だが、周辺道路の整備計画はない。平面交差となる、道の駅季楽里あさひの前面道路に接続する箇所は、整備方針について県と協議を重ねている。

問 谷丁場遊正線に通じるICまでが完成した時点で、運用を開始することはできないか。市民の皆様にとっては利便性が上がるのではないか。

答 現在道路幅を決定するため予備設計等を実施している。

るところで、3期区間については、現段階では13km全線を対象に事業を進めていくと伺っている。

学校再編推進事業について

問 干潟地域は古城小が統合先の候補に挙がっているが、屋内運動場が土砂災害警戒区域に入っているにもかかわらず子どもたちを通わせることについて、市の見解を伺う。

答 干潟地域の小学校のうち、中和小と萬歳小は校舎全体が土砂災害警戒区域に入っているのに対し、古城小は屋内運動場だけしか入っていないため、校舎は安全であるという理由で古城小を活用しようとする方針。急傾斜地は市の保安林で、県北部林業と協議を進め、樹木等を伐採して現地確認を行い、さらなる安全性を確保するための対策を検討していく。

問 古城小を統合の候補地とする場合は、安全を確保できているという認識でいいか。

答 安全対策が必要かの確認を行い、学校敷地内の安全対策についても改修工事の設計の際に検討していく。

その他の質問事項

○新型コロナウイルス感染症について



井田 孝 議員





常世田 正樹 議員



定住の促進について

問 漁師の方から相談を受けた。漁業に興味関心を持ってもらうために漁業体験の受け入れを始めたが宿泊費用の負担が大きくなネットとなっている。居住支援をすることはできないか。

答 居住支援についてはニーズの把握や必要な支援の内容、空き家対策も含めての居住施設の調達、運営、管理等の検討を行う必要がある、先行事例の調査研究や関係部署との協議を行う。

問 官学連携による地域の課題解決、地域の活性化、大学生と関わりを持つことによる関係人口の増加等、大きなメリットになると思うが、近隣大学等と包括的連携協定を結ぶ予定はあるか。

答 現在、千葉工業大学との包括連携協定に向けて調整している。協定を結ぶことにより、大学側には学生の調査研究のために活躍する場所や機会を提供し、市は大学側から提供された高度な知識や情報と専門的な人材を活用させてもらえる。また、大学生のような若い人材が地域と交流することにより、市民のコミュニティや事業所の活性化が図られることを期待している。

安全で快適な道路の整備について

問 昭和から平成にかけて開発された住宅地等の私道や側溝に老朽化や破損がみられる。放置すれば市民の生活に悪影響を与えと思うが、市が修繕等に取り組む予定はないか。

答 私道と側溝の維持管理や補修等については、従来同様に地権者へお願いしたい。

問 私道の維持管理を行政が出さないのであれば「私道整備助成事業補助金」の補助率及び補助限度額の引き上げの検討が必要であると思うが、見解を伺う。

答 近隣自治体では私道の助成では平成17年度から助成を行っており、平成25年度に上限額を引き上げる等、制度の拡充を図り、運用してきた。補助率の引き上げや補助限度額の見直しについては今後研究していく。

その他の質問事項

○住居環境の充実について

旭市男女共同参画計画について

問 これまでの計画策定方法と新しい計画の策定状況は。

答 策定の前年度に市民意識調査、策定年度には策定委員会を設置し専門部会を置き、関係課にヒアリングを実施。また、学識経験者や関係団体による推進懇話会の開催、パブコメにより市民から意見聴取し策定している。

問 第3次計画は抜本的な見直しが必要と考えるが、先進自治体の計画を参考にしながら今一度計画の見直しができないか。

答 第3次計画の策定については前計画からの進展を図るために市民意識調査の結果や近隣市等の計画を勘案しながら進めている。先進自治体の計画の中で参考にできる取り組み等あれば計画に取り入れられるか精査したい。

女性の就農・起業を増やす取り組み

問 女性の経営関与と収益の増加には相関関係があると言

われている。市の農業をさらに活性化していく為にも、女性の就農や起業、連携を増やす取り組みは。

答 市では性別にとらわれず就農希望する人を対象に支援を行っている。県ではアグリウーマンイノベーション事業を行っており、本年10月に農業女子交流会を開催予定。市としても協力していくことで女性農業者のネットワークづくりを応援していきたい。

放課後児童クラブのお弁当について

問 こども家庭庁では、長期休業中におけるクラブの昼食支給について自治体へ検討を働きかけているが本市の検討状況は。

答 近隣市町の状況や、民間委託の可能性等について調査をしている。近隣でも様々な取り組みがある中で本市での実施が可能な検討していきたい。

問 実施してもニーズに合わないのでは意味がない。昼食支給についてクラブ利用する保護者へ意識調査を行う予定は。

答 年に1度実施する利用者アンケートの中で、昼食提供についても調査を行いたいと思う。

その他の質問事項

○自治体DX(こども政策DXについて)



宮内 保 議員



ナガエツルノゲイトウ対策について

問 ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定されており、再生力が高いため、生きている個体を運搬すると拡散させてしまう可能性がある。断片がこぼれ落ちないよう対策を行えば、焼却施設等に運ぶことが可能となるが、東総地区クリーンセンターで焼却処理できるのか伺う。

※特定外来生物：解説は16ページ

答 東総地区広域市町村圏事務組合に確認したところ、袋に入れ密閉する等、茎や葉がこぼれ落ちないように対策すれば、東総地区クリーンセンターで焼却処理は可能。

飯岡台地の風力発電事業について

問 事業者は以前に風力発電事業を行っていた事業者と同じなのか。また、非常に大きなパイプを打ち込んで大規模な基礎工事を行っているが、風力発電の規模はどのくらいなのか。

答 事業者は以前と同じ事業者。以前は850kWの風車が5基設置されていたが、今回は2300kWの風車を4基建設する計画と伺っている。また、今回設置される風車は、以前よりも大型で、羽根の先端の最高到達地点は119mになる。



横根地先風力発電工事現場

問 以前の風車であった問題、電波障害や風切音の騒音の対策を伺う。

答 事業者に確認したところ、電波障害は発生しないという見解であった。電波障害が生じた場合には事業者で対応すると聞いている。また、騒音については風車が大型になるが、羽根の先端が通過する位置はほとんど変わらないため、同じくらいであるとのこと。

その他の質問事項

○部活動の地域移行について

上水道の安定供給について

問 漏水のリスクを減らすために水道管の更新計画を前倒しできないか。

答 水道管の更新には多くの費用と期間を要するため更新時期や費用の平準化を考慮した計画的な更新が必要。旭市水道事業ビジョン及び旭市水道施設耐震化計画に基づき計画的に進めていく。

問 人工衛星やAIを活用してリスクの高い場所から効率的に更新していく方法もあるが見解を伺う。

答 他の団体の先進事例の動向を注視し、費用対効果を踏まえ検討していきたい。

七夕市民まわりの交通規制について

問 交通規制の時間の変更になった経緯を伺う。

答 8月6日、7日は午後6時から午後10時で交通規制の案内をしていたが、旭警察署の判断で6日は午後5時50分頃から午

後9時30分頃まで、7日は午後5時30分頃から午後9時15分頃までに変更になった。旭警察署からは安全を第一に考えての判断と伺っている。



問 実行委員会と警察で事前に綿密に打ち合わせをして周知するべきではないか。

答 交通規制を伴う通常開催が4年ぶりという事でノウハウが途切れてしまった中での開催となった。実行委員会、警察の立場において認識の差が出てしまった。次年度に向けて早い段階から協議が行えるように実行委員会に働きかけていきたい。

その他の質問事項

○隣地から越境した竹木の切り取りについて

○福島第一原発の処理水放出について



永井 孝佳 議員





松木源太郎 議員



地方独立行政法人・総合病院国保旭中央病院の在り方について

問 千葉社保協のコロナ対策の質問に市は「市立病院がないので、コロナ対策は行っていない」と回答していた。また、決算では、旭中央病院へ病床確保のため1億円の援助をしたとの報告があったが、内容は病院のホームページを見るようにとのことだった。市長はどう考えているか。

答 旭中央病院は市立病院であり、市が評価委員を置き、理事長、幹事を任命しているほか、市が定める中期目標を達成するため、病院が策定する中期計画は議決案件となる。

防災行政無線の改修事業について

問 防災行政無線が「聞こえない」と苦情を伝えながしのつづてであるとの声は事実か。

答 庁舎移転後、受信不良が増えている。8月末で31件が解消できていない。

市道A-1099号線の施工方法及び管理の在り方について

問 田んぼ脇の道路で擁壁部分の舗装に穴が開いているが原因は。

答 平成4年にできた道路で30年経過している。パトロール等で陥没箇所補修等速やかに対応し安全管理に努める。

第3期旭市子ども・子育て支援事業計画に向けた取り組みについて

問 第2期計画では、子ども家庭総合支援拠点の整備を挙げているが、対象となる支援家庭をどう把握するか記載がない。子どもの貧困家庭の把握調査や調査結果に基づく貧困対策、分析結果を踏まえた素案作成、これらにより次期計画を作成してほしい。

答 第3期子ども・子育て支援事業計画は、今年度と来年度で策定することになる。今後庁内で検討して進めていく。

問 令和4年度に始まったストッブ少子化大作戦で少子化が食い止められるか。

答 移住・定住から結婚、出産、子育てを一連のものと捉え、少子化に歯止めをかける効果が期待できる市独自の取り組み。

農業の振興について

問 令和3年市町村別農業産出額が前回の全国6位から11位へと順位を下げた原因分析と、農業産出額増加に向けた今後の取り組みは。

答 市の産出額は、県の産出額を案分して作成されるため、県が4位から6位に後退したことが大きく影響していると考えている。今後は、担い手の確保対策、農業基盤の整備等引き続き農業の振興に注力していきたい。

問 インボイス制度が農業者に与える影響や開始前に取るべき対応は。

答 登録は任意なので、個々の経営により異なる。

問 持続可能な農業の実現のため、将来の農業の担い手となる旭市の子どもをはじめとした多様な担い手の確保、育成に向けた支援策は。

答 まずは農業について知ってもらうことが大切だと考え、

子どもたちの農業体験や食育活動に、継続して取り組んでいきたい。

旭の子どもの教育について

問 我が国の食料自給率を一層押し下げ、独立の基盤である農業を外国や外国企業の支配に委ねる政策を進める国に対して、地方は農業生産と消費の現場から、我が国の農業を守って行かなくてはならない。農業を守ること、それがこのまちの子どもたちを守り、この国の未来につなげていくことができる唯一の道だと信じている。旭市は国内でも屈指の農業産出額を誇るまちで、農業先進自治体としての役割を果たしていくべき、という観点から子どもたちが食や農業を学習する「食農教育」にどのように取り組んでいるか伺う。

答 旭市の特徴を生かした農業体験を学校教育に取り入れ、米づくり教室やサツマイモ、落花生、いんげん豆づくり等を子どもたちが体験している。

問 学校給食費の恒久無償化への検討状況は。

答 本年7月から来年3月まで、第1子からの無償化を実施している。6年度以降の完全無償化については、財源確保も含めてさらに検討を重ねている。



戸村ひとみ 議員





伊藤 房代 議員



物価高騰対策について

問 ガソリンや食料品、電気・ガス等の値上がりに対し、市として家計や中小企業へ負担軽減の支援策は考えているか。

答 物価高が続く中で、政府はガソリン等の燃料油の高騰対策をまとめた上で、9月中には電気やガス料金への対応を含めた追加の経済対策を示すと報じられている。市としては、国から追加の交付金が見込まれる場合は、これまで交付金を活用し実施してきた経済対策を勘案し、生活者・事業者への支援策を検討したい。

通学路の安全対策について

問 駒込橋の欄干が老朽化し、さびて穴が空き危険な状態だが、早急な対応はできないか。

答 当該橋梁については令和3年度に行った点検でも、欄干等の修繕が必要であるとのことだったので、現在、修繕工事の実施に向けて駒込堰を所管する関東

農政局等の関係機関と工事方法等の協議を進めているが、時間を要している。欄干の老朽化がかなり進んでいる状況なので、早急に工事を実施できるよう、さらに準備を進めていきたい。

問 国道126号沿いにあるばかりの道路で、県道をまたぐ井戸野大根川交差点付近までの南北線の道路の段差が激しく、舗装のやり直しはできないか。

答 道路パトロール等により当該路線の舗装ひび割れが進行していることを確認し、令和3年度から舗装修繕工事を実施している。令和5年度は富浦小学校北西側付近の約320mの区間で修繕工事を実施し、今年度までに約1・6kmの修繕工事を完了。次年度以降も継続して、舗装が大きくひび割れる等状態が悪い箇所から修繕工事を予定している。

その他の質問事項

- 学校給食費の完全無償化について
- 防犯カメラの設置について
- ドライブレコーダーの設置について
- 冷水機の設置について
- 次亜塩素酸水生成器の導入について

河川・水路の外來植物対策について

問 市内のナガエツルノゲイトウやチクゴスズメノヒエ等の外來植物等の繁殖状況は。

答 市内を調査したところナガエツルノゲイトウは、秋田川やその他の農業用水路、新川の揚水機場で確認された。チクゴスズメノヒエの確認は取れなかったが、類似のシマズメノヒエは、市内の広範囲で確認された。



秋田川上流部のナガエツルノゲイトウ(令和5年7月撮影)

問 防除対策として除草剤の使用は有効であるか。また、駆除に対して市の補助はあるか。

答 河川や水路へは水生生物等への影響が懸念されるため、



遠藤 保明 議員



除草剤は使用できない。重機や手作業による除去が一般的となっている。なお、外來植物駆除に関する市の補助は現在のところない。

公有財産の適正な管理と運用について

問 干潟地域の普通財産と行政財産の状況について、台帳上どのくらいあるのか。また、干潟公民館等の跡地利用は。

答 行政財産の土地が32万73万8119㎡。干潟公民館の跡地は、ひかた市民センターの駐車場、農村環境改善センター跡地は、古城保育所の駐車場、旧第三学校給食センター跡地は、地元消防団の消防庫と干潟中学校用地として使用している。

問 干潟地域の集会施設の過去3年の利用状況は。

答 萬歳地区多目的研修センターは、令和2年度が714人、令和3年度が617人、令和4年度が653人、萬力のコミュニティセンターは、令和2年度が1420人、令和3年度が1261人、令和4年度が1503人、入野のふれあいセンターは、令和2年度が1772人、令和3年度が1244人、令和4年度が1435人。



宮澤 芳雄 議員



干潟地域の小学校の統合について

問 市全体の統合に先駆けてなぜ干潟地区3校の小学校の統合が行われるのか、また古城小案はどのような理由なのか伺う。

答 干潟地区は児童・生徒数の減少が大きく、今後2学年が一つの教室で学習する複式学級となる可能性があるため、速やかに着手した。また、中和小学校、萬歳小学校は敷地全体が土砂災害警戒区域に入っており、敷地面積も狭いが、古城小学校は土砂災害警戒区域が一部であることや敷地面積が広いことから、統合小学校の候補地とした。

問 この統合計画は何年を目途に進めていくのか伺う。

答 各説明会や地域検討会議に1、2年、代表者会議や準備委員会で2、3年と想定しており、統合までに約5年程度の期間を目途に進めている。

問 古城小学校を改修する場合、過疎債は使えるのか伺う。

答 校舎等の改修工事は、国庫補助金の学校施設環境改善交付金の対象事業で、補助金額は過疎特例で10分の5・5となり、残り10分の4・5の市負担分について全て過疎債を充当することができる。



(仮称)干潟地域小学校候補地の古城小学校

中学校の部活動の地域移行について

問 中学校の部活動が地域に移行されるが、市ではどのように考えているのか伺う。

答 まずは休日における地域移行を進め、平日における活動についても課題解決を図りながら、徐々に地域に移行していくものと考えている。

その他の質問事項

○国土調査法による地籍調査を行った土地への課税について

誰もが安心して自宅以最期を迎えるために

問 独り暮らしの方が、自宅で安心して最期を迎えるために準備しておくことは。

答 エンディングノート等を作成し、自分の意思を分るようにしておく方法がある。当然、家族や主治医、関係機関の理解が必要であり、共通認識を持つておくことも大切。

問 死体検案書が提出された場合は、市からの葬祭費5万円支給に加えて、さらなる助成金の支給はできないか。

答 死体検案の費用に関する助成は、現在のところ予定はない。

問 エンディングノートを準備していても保管場所を伝えられないと、その方の意思を確認することができない。希望者のエンディングノートを市で保管できないか。

答 市ではエンディングノートとして「私の希望ノート」を発行している。保管は行っていないが、ひとり暮らし高齢者台帳の登録を受け付けており、高齢者等の情報把握に努めている。



旭市版エンディングノート

带状疱疹ワクチンの接種費用の助成金について

問 带状疱疹に苦しむ市民を減らすために、带状疱疹を未然に防ぐことができるワクチンの接種費用の助成を強く要望するが助成金の考えはあるか。

答 带状疱疹は80歳までに約3人に1人が発症すると言われており、激痛も続くという病気であると認識している。带状疱疹を予防するにはワクチン接種が有効であり、带状疱疹後神経痛も軽減することから市民の皆様が生涯健康で健やかな毎日を送るための一助になるものと考えている。国の動向や近隣の市の状況を踏まえつつ、前向きに検討していく。



伊藤 春美 議員





伊場 哲也 議員



教育長の所信及び見解について

問 教育の更なる充実について市の教育をどのように導いていきたいか教育長の所信を伺う。

答 「教育こそがまちづくりの原点」の認識のもと、学校教育・地域社会全体で市の未来を開いていく人材を育成することが重要。その実現に向け、地域住民、関係機関の協力をいただき、体制づくりとコーディネート者の発掘から取り組んでいく。

問 市の教育課題は何で、具体的にどう対応していくと考えているのか教育長の見解を伺う。

答 学校再編、部活動の地域移行等、大きな課題に直面している。地域住民や関係者と十分協議を繰り返し一つ一つ丁寧に進めていく。

医療の充実に向けて

問 市内の小児科医院不足をどのように補おうとしているのか見解を伺う。

答 令和3年度、小児科医院2か所が閉院し、現在、旭中央病院を除くと1か所である。受診対応については「子育てガイド」で周知し、無料相談できる「こども救急電話相談」の利用と「赤ちゃん全戸訪問」でお知らせしている。改善が必要である状況は理解しているため、医師会や旭中央病院等に意見を伺い地域の小児科医療について検討する。

高齢者福祉の充実について

問 介護施設の利用者への支援は十分足りているか。

答 市内の介護施設は16か所。利用料の支援は介護サービス費用の1割負担のほか食費・居住費について低所得者の負担を軽減している。高額負担になった場合は所得に応じ上限額を超えた分が高額介護サービス費として支給される。高齢者が安心して生活できるような財政的な支援がある。

その他の質問事項

- 市営住宅の今後の運営計画
- 農水産業の振興について
- 住民の要望への対応・方策
- 公共交通の路線変更について
- 利便性の高い旭市に繋げていく上でのJR・高速バスとの連携
- 旭市立図書館の今後の計画

マチを好きになるアプリ



あさひ議会だよりを
アプリ「マチイロ」で配信しています

スマホで読もう 「あさひ議会だより」

年4回(3月、6月、9月、12月)発行している、あさひ議会だよりを第69号から「マチイロ」で配信しています。あさひ議会だよりと広報あさひの発行をお知らせする機能もあり、いつでも広報誌を見ることができます。

すでに広報あさひを閲覧するために、アプリを利用している人は、そのまま、あさひ議会だよりを閲覧することができます。

「マチイロ」の便利な機能

- 新着情報と連動したプッシュ通知
- 広報誌のオフライン閲覧
- オリジナルコンテンツの配信 など



下記QRコードから
ダウンロードページに
アクセスできます。



iPhone Android

※アプリの使用は無料ですが、通信費は回線ごとの負担になります。

※アプリ内に広告が表示されますが、旭市とは関係ありませんのでご了承ください。



いつでもスマホであさひ議会だより

茅野市議会議員と交流会を実施

茅野市とは海と山の自然都市間で、市民、各種団体、産業経済、教育文化の交流を図ることや都市行政の相互研究を行うこと等を基本として、旧旭市が昭和49年12月3日に姉妹都市提携を結びました。昭和62年からは姉妹都市交流として、4年に1度お互いの市を訪ね、交流を深めています。

今年度は茅野市議会から議長、副議長、議会運営委員会の皆さんが本市を訪れました。

視察後は交流会で意見交換をしました

視察後は旭市役所1階市民ホールで「脱コロナによる今後の議会運営について」をテーマに意見交換を実施。

傍聴人の制限や一般質問時間等の制限、今後の議会運営の課題等について、互いの議会の状況等を共有し、活発な意見交換を行うことができ、非常に実りある交流会となりました。

旭市のここを視察してもらいました

- 道の駅「季楽里あさひ」
- 飯岡刑部岬展望館～光と風～
- 多世代交流施設「おひさまテラス」
- 旭市役所の議場と展望階



おひさまテラスを視察する茅野市議員



茅野市議会の皆さんと交流会



矢島正恒議長から訪問のご挨拶

議会のICT化で資料をペーパーレス化

9月定例会からタブレット端末の運用を開始

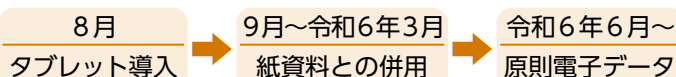
議員の調査環境の向上・議会資料等のペーパーレス化による議会運営の効率化や省資源化の推進、情報の共有化を図るため、8月からタブレット端末を導入し、9月定例会から運用を開始。

来年3月定例会までは紙との併用により運用し、利用者の意見・要望等を聞きながら課題点を洗い出し、より効率的な運用形態となるよう改善を図り、6月定例会からの完全ペーパーレス化を目指します。

導入による効果

- ペーパーレス化による環境負荷の軽減、効果的・効率的な議会運営が図れる。
- 資料の即時共有や配信、携行により議員活動の活性化が図られる。
- 議員同士や議会事務局との連絡ツールとして、スケジュール管理や情報共有の効率化が図られる。
- 災害時の議員の安否確認、災害情報の共有化及び情報伝達の迅速化、議員からの被災情報や要望の一元化が図られる。

ペーパーレス化のスケジュール



紙の資料をデータ化することでペーパーレス化



導入したタブレット端末

あさピーが解説

気になるあの用語



本紙で気になった
用語を解説するよ！

Q 特定外来生物ってな～に？ 掲載は10ページ

A 外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定され、飼育・栽培・保管・運搬が原則禁止されています。

市ではナガエツルノゲイトウのほか、オオキンケイギクやアライグマ等の特定外来生物も目撃されています。



オオキンケイギク



アライグマ

Q XBB.1.5ってな～に？ 掲載は6ページ

A オミクロン株の一つ。複数のタイプの新型コロナウイルスが組み合わさった変異ウイルスのこと。従来のXBBよりもヒト細胞への結合が強化され、さらに伝搬性が高くなっているのが特徴。

また、中和抗体に対して高い抵抗性を持つといわれており、一度新型コロナウイルスにかかった後でも再度感染する可能性がある。



12

月定例会の予定

(11月29日～12月18日)

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
			開会			
3	4	5	6	7	8	9
	議案質疑		一般質問	一般質問	一般質問 (予備日)	
10	11	12	13	14	15	16
	建設経済 常任委員会	文教福祉 常任委員会	総務 常任委員会			
17	18	19	20	21	22	23
	閉会					

いずれも10時から開催予定です。

日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

千葉県北総地区

市議会正副議長会議員研修会



「新たな自治体防災対策と議会、議員の役割」についての講習を受講

10月30日アートホテル成田で、研修会が行われ、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部の鍵屋一教授から、災害時の議会・議員の使命や応急対策期にするべきこと、してはならないこと、議員心得等について学びました。また、平時からの危機管理についても、改めて確認しました。

編集後記

2年前、編集特別委員になり、旭市議会だよりの発行に携わらせていただきました。今号の発行で最後だと思つと寂しく感じられます。

年4回の発行でしたが、市民のみなさまが見やすいように、市政に関心を持っていたできるように、委員全員で丸となり、編集作業に取り組んでまいりました。また、担当職員さんにおかれましては、細かい修正や指摘等に対し、丁寧に対応していただきありがとうございました。

コロナ禍が終息し、お祭りや行事等が一斉に解禁となりました。街に賑わいが戻り、人々の表情にも明るさが戻りました。クリスマス、年末年始を明るく楽しく過ごすためには健康が第一です。引き続き、うがいや手洗い等の感染症対策を心がけましょう。読者のみなさま、2年間ありがとうございました。

(委員 常世田正樹)

旭市議会だより編集特別委員会

委員長 永井 孝佳

副委員長 井田 孝

委員 戸村ひとみ

委員 常世田正樹